

# 清流

●伊藤病院だより



## 安全で質の高い医療のために

伊藤病院院長 伊藤 博

第2巻1号

平成14年8月30日発行

●発行所●

伊藤病院

〒920-0976

石川県金沢市十三間町98

TEL.(076)263-6351(代)

FAX.(076)263-2526

●印刷●

高桑美術印刷(株)

皆様ご存知のように、今、医療改革の波が急速に進展しております。そして新しい医療制度、新しい医療システムの構築などにより病院は大きく変わります。

しかし、どのように医療の制度・システムが変わろうとも、私どものめざしている医療の原点は変わることなく、患者さまが中心の、安全で質の高い医療を提供することで地域の皆様方に安全と信頼をいただくことであります。

お蔭様で当院は昨年九月までに、日本医療機能評価機構の審査を受け、質の高い医療を提供しているとして評価され認定証を取得しました。質の高い医療サービスには質の高い職員と質の高い施設・設備が求められます。今年もまた、多くの職員が次々と

研修やセミナー参加のため東京等に出かけ、知識を深め、技術と能力を磨き、意欲を高めております。

皆様のご期待に応え、使命達成のために職員一同更に力を合わせて頑張っておりますので、今後とも何卒よろしくご指導ご支援をお願いいたします。

なお、本号では当院が日頃大変お世話になっており、また、健康管理をさせて頂いている辻則保様より貴重なご寄稿を賜りました。誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。



### 清流

広報誌タイトルは伊藤院長みずがらのネーミングによるもので、患者さま一人ひとりに対して職員全員が犀川の清き流れの如く澄んだ気持ちでおだやかに思いやりを持ちながら対応させて頂ければと考えております。

## 患者様よりの投稿

## 杖と医療

## 辻 則保

古くは数千年もの昔から、人間と共に歩んで来た杖について考えてみよう。

“朝は4本、昼は2本、夕は3本の足で歩く動物はなにぞ？” 答えは人間である。世界で最も有名な、なぞなにぞである。老いて三本目の足として登場するのが「杖」である。

杖とは歩行を助け、行く手を阻むものを取り除く手足のかわりの棒、物をとるための道具、外敵から身を守る為の武器としても機能した。

杖はまた、神の依代（よりしろ）でもあった。（神が降臨する時の媒体）ギリシア神話における、医療、治療の神、アスクレピオスの蛇杖でいかなる患者の病気を治した。その杖に一匹の蛇がからまつていたという。蛇は成長過程で脱皮をくり返し、若返り、蘇生、復活を示した。そして神秘・守護・崇拜を象徴するに至った。

現在でも、世界の医師会で、この蛇杖がシンボルマークとして用いられている所以である。ギリシアの歴史をみると古代に、すでに緻密な彫刻を施した杖がみられ、エジプト・ギリシアの壁画にも多く画かれている。中世には王や聖職者の象徴として崇められている。17、19世紀には英国では紳士の、フランスでは女性の最も重要なアクセサリーとして用いられていてお国柄がうかがえる。スティックは明治時代に輸入され、歴代の首相が手にした。とりわけ吉田茂の世界最高級といわれたアマゾン

のスネークウツドが有名である。こうした歴史と変遷をえて今日に至った杖はどうかわつて来たのだろうか？

現在の杖は、松葉杖に代表される医療トリハビリ用、それも三点は一面を表す定理によつてキヤスター付・歩行補強道具まで進展してきた。



一方、実用とお洒落としてのスティックも素材の多様と共に、常用的歩行から登山、トレッキング等に使用する、実用的かつファッショナブル

なものとなつてきた。

いずれにしても、大別すれば、医療と保身、ファッションを主体とした用具であるが、人間の生活様式の変遷と共に「杖」も変化してきている。しかし、懸命に治療やリハビリに励む人達が求めている杖は必要な時にそつと背を支え、手を添え、言葉をかけて励ましてくれる杖ではないだろうか。

高齢化の進むこれからの世代に本當の介護としての杖は「人の心」にあると思うのである。

最後になりましたが、いつもお世話になつて居る伊藤病院の皆様から感謝いたします。

## 職員研修

## 医療安全推進セミナーに参加して

病棟師長 辰巳 寿美子

医療安全推進セミナーが6月15日東京で行われました。全国各地から200人の方が参加しており、関心の高さがうかがわれました。医師等と一緒に講義を聞き、貴重な勉強をさせて頂きました。毎日のように新聞やテレビで医療事故や院内感染のニュースを目にします。決してひとごとではないと思います。今回のセミナーで得た多くの事を活かし、全職員と一緒に取り組み、安全な医療を目指したいと思います。

## 病院IT化セミナー

事務 坪坂 薫

最近、「電子カルテ」という言葉を聞く機会が多くなつてきました。電子カルテとは、これまでの紙のカルテの代わりに、パソコンに医療情報を書き込むシステムのことです。電子カルテはいろいろな利点があり、ひとつとして診察が終わつて医師がカルテに書き込み終わった段階で瞬時に処方箋や会計明細が発行され、待ち時間短縮に繋がります。当院では現在、電子カルテの導入を検討している段階であり、積極的に研修会等に参加し早期導入を目指しています。

## ニューフェイス

よろしくお祈りします!!



慣れで、何かとご迷惑をお掛けしていますが、患者様中心の親切で丁寧なお仕事をしたいと思つて居りますので、宜しくお祈りします。

自己PR/明るく、前向きな所です。  
とにかく頑張ります!



事務 濱 明子



看護師 大桑 綾子

以前は、ほとんど外科系が、手術室勤務だったので、最初は、ペースがつかめず大変でしたが、スタッフの皆さんに支えられて、5ヶ月が経つた感じです。

焦らずマイペースでいきたいと思つています。よろしくお祈り致します。

伊藤病院の古くて新しいもの、それは、私こと、大桑綾子です。



### 病棟だより

七夕に向けて、数日前からそれぞれが短冊に願いを綴りました。ナースセンターの前に飾り付けをし、みんなの願いを託しました。

昼食には、ソーめんが色鮮やかに天の川を思わせるようにアレンジされており七夕気分を満喫しました。

これらの食品をバランスよく組み合わせ毎日の食生活が肉食に偏らないよう心がけましょう。

これら食品は多く含まれています。

抗酸化物質が多く含まれています。

βカロチンを多く含むほうれん草、人参、トマトなど緑黄色野菜、ビタミンCたっぷりのキウイ、いちご、グレープフルーツなど新鮮な果物、ビタミンEが豊富なゴマ、ピーナッツ、アーモンドなど種実類や、大豆、豆腐など豆製品、カテキンを含む緑茶やウーロン茶、その他、ぶどうに含まれるポリフェノールや、玄米、胚芽米など脱穀レベルが低い穀類にも、抗酸化物質が多く含まれています。

### 栄養部から

あなたの健康に一言

**老化とともに、人間の体は酸化する!!**

金属がさびるように人間の体も年を重ねるごとに「酸化」が進みます。これが動脈硬化やがんなどさまざまな病気を引き起こす原因の一つにもなるのです。

体内の酸化を防ぐためには抗酸化作用のある食品を心がけてとりましょう。



栄養部スタッフ

## 診察のご案内

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00	伊藤 博				伊藤 博	伊藤 透
	13:00	伊藤 順	伊藤 順	石澤友海子	伊藤 順	伊藤 順	伊藤 順
午後	14:00	伊藤 順				伊藤 順	
	17:30	PM4:00~ 伊藤 透	伊藤 順	藤岡 央	伊藤 順	伊藤 順	

内視鏡検査日：月、火(胃・大腸)  
水、土(胃)

### ■外来診療時間

平日受付 8:00~13:00 14:00~17:30  
土曜日受付 8:00~13:00  
休診日 日曜・祝日及び12月31日~1月3日



### 一 顕著な改善をみた炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎)一

患者さまは約10年前より、潰瘍性大腸炎(左結腸型)で通院中の方です。時々精査目的で精査入院される程度で緩解状態が続いておりましたが、仕事と私生活のバランスがうまくとれず体調を崩されたことがきっかけとなり、平成13年1月31日から5月8日まで、左結腸型(中等症)にて入院。血栓性静脈炎、関節炎を併発。ステロイド投与にて緩解状態が得られたため退院されました。

しかし、自宅で十分な安静がとれなかったためか、同年8月初旬より、全身倦怠感、発熱(37℃代)、下腹部痛、1日10数回におよぶ粘血便を認めるようになられたため、同年17日入院となりました。前回同様に血栓性静脈炎、関節炎に加え壞疽性膿皮症も合併。重症型と診断。抗凝固剤投与中のため高カロリー輸液のための血管確保もままならない状態で、絶飲食として腸管安静をはかり、白血球除去療法を考慮しつつ、ステロイド(プレドニン経口40mg/日)投与を開始。さらにエレンタールダイエット療法も開始。以前の注腸では、大腸の度重なる炎症のため内腔の狭窄が著しく、通常の大腸内視鏡では検査は不可能でしたが、オリンパス社製の細径大腸内視鏡を用いることで全大腸の内視鏡検査が可能となり、治療前(全大腸型)、後の写真で病態の著しい改善が確認され、平成14年4月6日退院されました。現在元気で外来通院され、日常生活を謳歌されておられます。



治療前



治療後



**駐車場** 収容台数25台

### 交通ご案内

- 北鉄バス  
片町(金劇パシオン前)下車 徒歩3分  
片町(ラプロ前)下車 徒歩5分  
野町・広小路下車 徒歩5分
- 城下まち金沢周遊バス  
十三間町(伊藤病院前)下車
- タクシー  
JR金沢駅より10分

編集委員/伊藤 順 沢瀬 諭 西村 節子 辰巳 寿美子 伊藤 透

## 伊藤病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒920-0976 金沢市十三間町98

TEL (076) 263-6351(代) FAX (076) 263-2526